環境保全コスト　（単位：百万円）

分類	主な取組の内容	古河電工		国内グループ会社	
		費用額	前年度比	費用額	前年度比
(1) 事業エリア内コスト	大気汚染など公害防止、省エネ、廃棄物処理など	936	-286	961	441
(2) 上・下流コスト	梱包・ドラム回収など	189	-18	110	-148
(3) 管理活動コスト	環境マネジメントシステム監査、環境負荷監視など	331	-14	102	-6
(4) 研究開発コスト	環境調和製品開発、有害物質代替検討など	338	-304	84	12
(5) 社会活動コスト	緑化、地域清掃、寄付金など	2	1	6	3
(6) 環境損傷対応コスト	環境負荷賦課金、汚染土壌浄化処理など	1	0	4	4
	合計	1,797	-621	1,268	307

環境保全対策に伴う経済効果　（単位：百万円）

効果の内容	金額	
	古河電工	国内グループ
リサイクルにより得られた収入額	199	304
廃棄物処理費用の削減額	18	18
エネルギー費の削減額	1,499	607
水の購入費の削減額	-15	-7
合計	1,701	922

※－（マイナス）は増加を表します。

環境保全効果

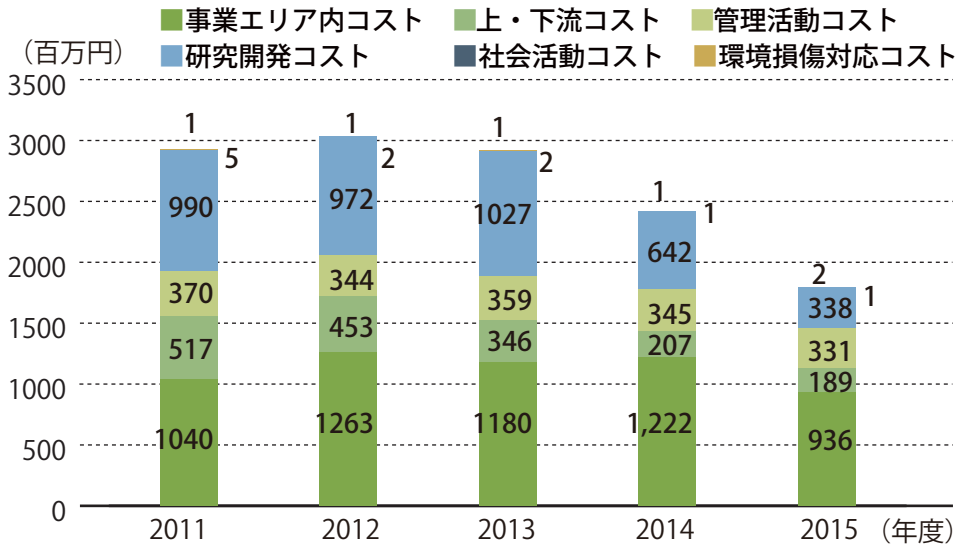
環境負荷排出量	単位	古河電工		関係会社
		環境負荷量	削減量	削減量
産業廃棄物処理量 *)	t	115	93	376
エネルギー投入量（原油換算）	千KL	126	-7	13
水使用量	千 t	18,384	749	114
揮発性有機化合物排出量	t	172	-20	-2
CO_2 排出量	千 t -CO_2	219	-1	31
SOx排出量	t	46	-19	-0
NOx排出量	t	220	-116	0
ばいじん排出量	t	10	-6	-0

＊）再資源化産業廃棄物を除く量　※－（マイナス）は増加を表します。

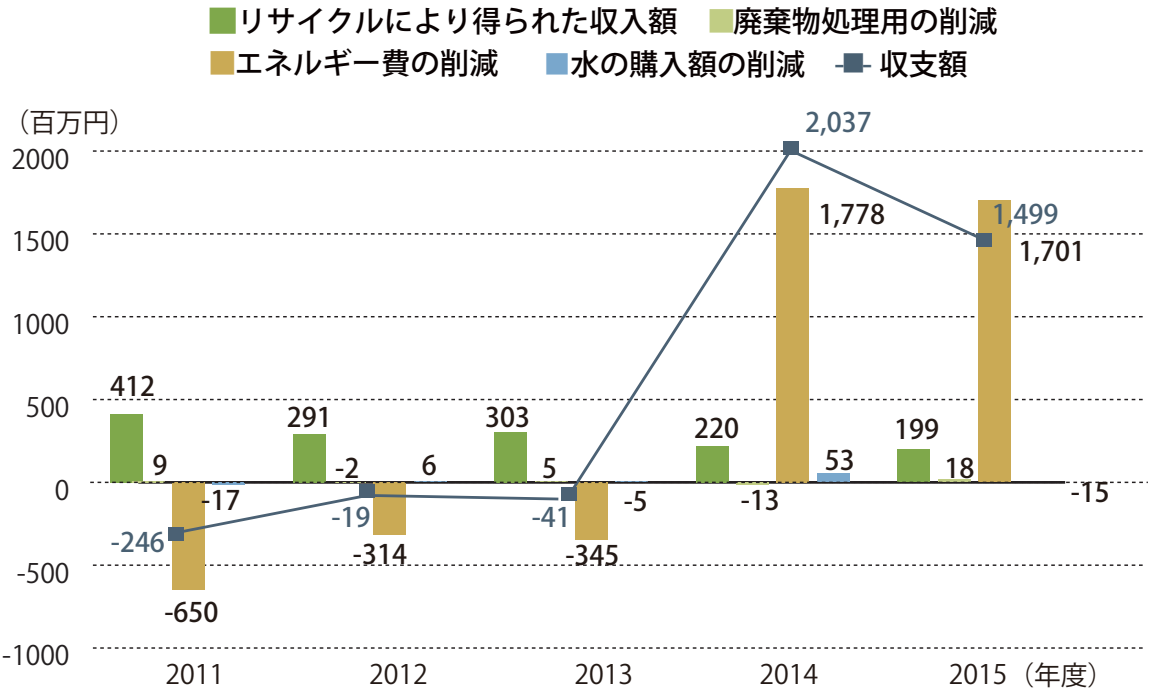
投資額および研究費　（単位：百万円）

投資額及び研究費	金 額	
	古河電工	関係会社
環境関連投資額	304	669
投資額総額	6,394	2,592
研究費総額	7,520	594

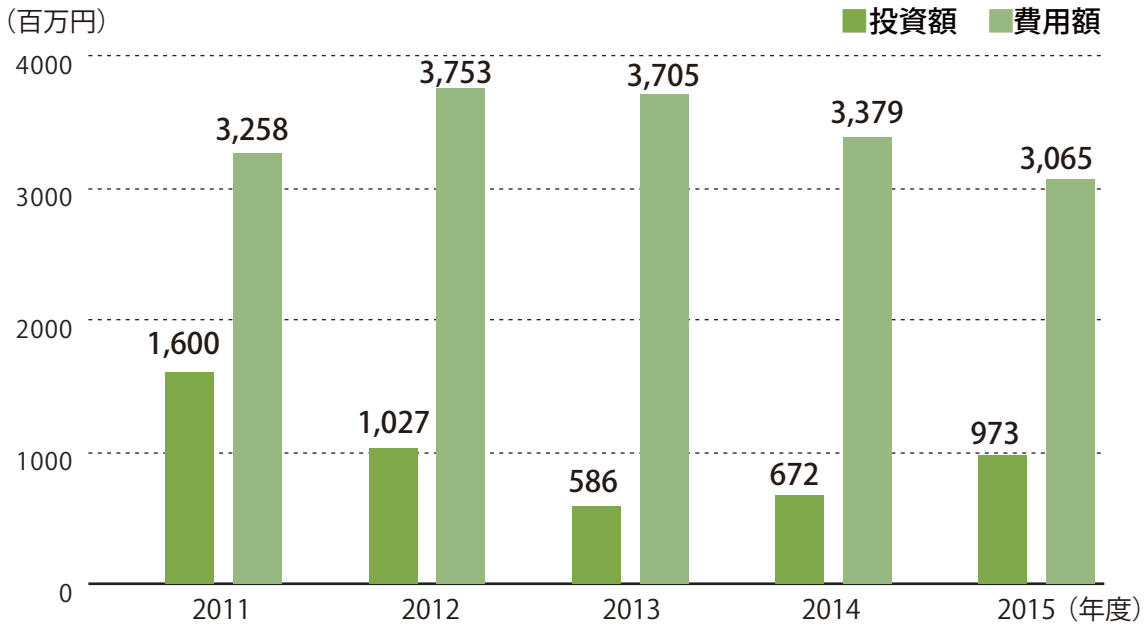
環境保全コスト（古河電工）



環境保全対策に伴う経済効果額（古河電工）



環境関連投資額および費用額の推移（古河電工＋国内グループ会社）



ＰＲＴＲ対象物質一覧表（古河電工グループ、古河電工含む）　（単位　：　トン）

物質番号	化学物質名	取扱量	排出量	移動量	製品含有・燃焼消滅量
1	亜鉛の水溶性化合物	3.9	0.0	0.4	3.4
31	アンチモン及びその化合物	2,709.1	40.2	9.3	2,659.5
53	エチルベンゼン	104.6	0.6	0.0	103.9
71	塩化第二鉄	39.8	0.0	24.0	15.8
75	カドミウム及びその化合物	91.0	0.0	19.1	71.9
80	キシレン	116.6	2.2	0.7	113.7
82	銀及びその水溶性化合物	10.6	0.0	0.8	9.8
86	クレゾール	452.8	7.7	0.1	445.0
87	クロム及び三価クロム化合物	13.5	0.0	0.0	13.5
88	六価クロム化合物	5.6	0.0	4.4	1.2
132	コバルト及びその化合物	4.6	0.0	0.3	4.3
144	無機シアン化合物	16.3	0.0	6.1	10.1
213	N,N-ジメチルアセトアミド	552.0	14.2	0.0	537.8
232	N,N-ジメチルホルムアミド	53.8	1.5	0.0	52.3
239	有機スズ化合物	2.4	0.0	0.0	2.4
255	デカブロモジフェニルエーテル	302.0	0.1	0.5	301.3
272	銅水溶性塩	7,144.8	0.1	26.5	7,118.1
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	5.5	0.0	0.0	5.4
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	2.9	0.3	0.0	2.6
300	トルエン	181.8	91.7	22.9	67.2
305	鉛化合物	28,339.4	0.1	4.3	28,335.1
308	ニッケル	509.3	0.0	2.4	506.8
309	ニッケル化合物	100.2	0.0	16.0	84.1
332	砒素及びその無機化合物	14.5	0.0	0.0	14.5
333	ヒドラジン	2.8	0.0	0.0	2.8
349	フェノール	332.2	5.4	0.2	326.6
355	フタル酸ビス	81.7	0.0	0.2	81.6
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	8.3	0.0	6.3	1.9
384	1-ブロモプロパン	1.9	1.9	0.0	0.0
392	ノルマルーヘキサン	1.2	0.7	0.0	0.5
405	ほう素及びその化合物	3.6	0.5	0.5	2.6
412	マンガン及びその化合物	7.5	0.0	0.0	7.5
413	無水フタル酸	2.2	0.0	0.0	2.2
438	メチルナフタレン	79.5	0.3	0.0	79.2
453	モリブデン及びその化合物	1.4	0.0	0.2	1.2
合計		41,299.1	167.9	145.5	40,985.8

＊グループ全体で取扱量１トン以上（特定第一種指定化学物質は0.5トン以上）の物質を対象

当社の石綿含有製品一覧

更新日 2016 年 10 月 1 日

用途分類	製品名	使用部位など	製造期間	使用石綿種類	対策状況
電線・ケーブル及び付属品	アスベストシース	MI ケーブルのシース	1969～1989 年	白石綿(クリソタイル)	1989 年以降グラスウールを使用
	配管フランジパッキン	水冷却設備配管接続部	1977～1997 年	白石綿(クリソタイル)	1997 年以降ノンアスベスト品を使用
	アスベスト糸編組またはアスベストテープ付キャブタイヤケーブル	外部耐熱層	1977～1987 年	白石綿(クリソタイル)	1987 年以降ノンアスベスト品に変更済
	水冷ケーブル用アスベストテープ付ゴムホース・ゴムスペーサ	外部耐熱層	1976～1983 年	白石綿(クリソタイル)	1983 年以降ノンアスベスト品に変更済
	水冷ケーブル用アスベストテープ付 FRP スペーサ	外部耐熱層	1976～1995 年	白石綿(クリソタイル)	1995 年以降ノンアスベスト品に変更済
	防水シール材料(エポキシパテ)	・高圧ケーブル用中間/終端接続部 ・上記防水箱(海外) ・PE 管接続/端末 ・空港照明用機器	～2000 年	白石綿(クリソタイル)	2004 年以降ノンアスベスト品に変更済
			2000～2004 年	トレモライト（含有量 0.01%以下）	
	22・33kV プレハブ接続部	接続部の防水処理部	～1988 年	白石綿(クリソタイル)	1988 年以降ノンアスベスト品に変更済
	22・33kV 気中終端箱	接続部の防水処理部	～1988 年	白石綿(クリソタイル)	1988 年以降ノンアスベスト品に変更済
	管路口防水装置	防水処理部	～1988 年	白石綿(クリソタイル)	1988 年以降ノンアスベスト品に変更済
	ダンシール P		1978～1984 年	白石綿(クリソタイル)	1984 年以降ノンアスベスト品に変更済
	ケイカライト S		1976～1985 年	茶石綿(アモサイト)	1985 年以降ノンアスベスト品に変更済
	ダンネッカ		1973～1982 年	白石綿(クリソタイル)	1982 年以降ノンアスベスト品に変更済
	ケイカライト H		1976～1987 年	茶石綿(アモサイト)	1987 年以降ノンアスベスト品に変更済
自動車関連製品	エンジン用ワイヤーハーネス/アスベストシート	ハーネスに巻き付け	1983～1989 年	白石綿(クリソタイル)	1989 年製造中止